

和歌山病院での実習を終えて



山城 有斗

この度、7/4-7/5 の二日間に渡り、呼吸器内科の臨床実習の一環としてこの和歌山病院で実習をさせていただきました。

和歌山病院は、和歌山県で唯一の結核病床がある病院であるため、実際に結核病床の陰圧室やフロアなどの施設設備を見学させていただいたり、患者さんの病室を訪問し、服薬の指導に同席させていただいたり、普段の大学病院では出来ない経験をさせて頂くことができました。大学の講義だけでは理解しきれていなかった、曖昧であった知識も、それを補強する形で系統立って副院長の駿田先生から教えて頂けたことでさらに理解が深まったように思います。

さらに、医学生が実習を始めると必ず読影の壁にぶち当たるといっても過言ではない胸部レントゲンに関して、院長の南方先生が時間を割いて分かりやすく丁寧に教えて下さったことで、レントゲン読影のポイントを押さえることができ、特に有意義なレクチャーであったと感じています。この知識はこの先の呼吸器内科での実習でも活かされており、これから先にも活かしていきたいと思えます。

2日間という短い期間ですが、気さくな先生方、スタッフの皆さま方のもと、非常に充実した実習をさせていただくことができました。台風の影響で外は大荒れでしたが、内ではそれをものともしない熱意あるレクチャーをしていただくことができ、大変満足しております。お世話になった先生方、スタッフの皆さま方、貴重な機会を下さいましたこと深く感謝申し上げます。